資料№.１

路線バスの平成 27 年４月１日付け改正(案)について

１　目的

・平成 27 年３月 14 日の北陸新幹線及びえちごトキめき鉄道の開業に向け、二次交通として交流人口の拡大に寄与する。

・利用者の利便性の向上を図る。

２　運行事業者

糸魚川バス株式会社

３　協議事項

①停留所の新設

停留所名	長者ヶ原考古館前
停留所位置	糸魚川市大字一の宮 1380 番地先
新設予定日	平成 27 年４月１日
関係する系統	系統名：「糸魚川駅アルプスロ～フォッサマグナミュージアム～糸魚川駅アルプスロ」
新設理由	バス停留所「美山公園」～「フォッサマグナミュージアム間 0.9ｋｍに、糸魚川市美山球場・糸魚川市陸上競技場・長者ヶ原考古館があり、この施設利用者より中間付近にバス停留所の設置要望があったため。

②運賃設定

系　　統	系統名：「糸魚川駅アルプスロ～フォッサマグナミュージム～糸魚川駅アルプスロ」
運　　賃	１回の乗降につき 100 円（小児 50 円）
運行回数	4.0 回（8 便）
設定理由	平成 27 年３月 31 日をもって廃止予定の「街めぐりバス」は、上記運賃を設定しており、「街めぐりバス」の機能を「市街地巡回線」と当該系統で分担するため、これを超える運賃は設定し難い。 また、市街地巡回線と同様の運賃設定としていることから、利用者にわかりやすい均一運賃を同様に設定したいため。

③系統の廃止

廃止系統	街めぐりバス
廃止予定日	平成 27 年３月 31 日
運行日	土日祝日（元旦は運休）
主な経路	糸魚川駅～フォッサマグナミュージアム～翡翠園 ～京ケ峰二丁目（谷村美術館）～正覚寺前（史跡相馬御風） ～糸魚川駅
運行回数	4.0 回（８便）　12/1～3/1 は 3.0 回（６便）
廃止理由	・系統名「糸魚川駅アルプスロ～フォッサマグナミュージアム～糸魚川駅アルプスロ（以下、「新設系統」とする)」の平成 27 年４月１日付け新設に伴うもの。 ・「街めぐりバス」の機能を「新設系統」と既存の「市街地巡回線」で分担して効率化を図り、元旦を除く毎日運行で増強することにより、「街めぐりバス」の設定目的がなくなるため。

４　協議の提案理由

・平成 26 年 11 月４日第１回糸魚川市地域公共交通会議にて、系統名「糸魚川駅アルプスロ～フォッサマグナミュージアム～糸魚川駅アルプスロ」の新設について協議を行ったが、系統の詳細について関係者と調整を進める中で、追加して協議が必要になったため。